

秋田県立衛生看護学院 令和4年度自己点検・自己評価結果

令和4年度の自己点検・自己評価を令和5年2月から3月にかけて実施しました。
各点検項目を職員21名（教務部（保健科・助産科・看護科）17名、事務部4名）で点検しました。結果は次のとおりです。

<調査項目>

I	教育課程・教育活動	16項目
II	学校運営	5項目
III	学生支援	3項目
IV	教育環境	7項目
V	学生の受入募集	3項目
VI	学修成果	3項目
VII	社会貢献	3項目

評価基準 3：当てはまる 2：やや当てはまる 1：当てはまらない 0：わからない

<概要>

IからVIIまでの調査項目の評価基準の平均値は、2.4～2.8で概ね良好であると思われます。
各調査項目についての評価の概要等は次のとおりです。

I	教育活動は、教育理念・教育目的、教育目標と整合性があり、適切な時間割の調整、単位取得に向けた支援、評価体制、自己研鑽、相互研鑽のシステムも整えられていると評価されている。研究活動の環境等は、昨年度より低い評価であり、時間、経費、余裕がないことをあげている。教育活動や学生指導を優先せざるを得ない現状の中でも、改善、工夫できる点を模索していく必要があると考える。臨地実習での指導者と教員との協働体制に対し、昨年度同様十分ではないと認識している教員が少数いるが、状況を把握し十分に環境を整えていく必要があると考える。
II	概ね円滑に運営されていると評価されている。
III	就職や進学、経済面、健康面に対する学生支援体制は概ね整えられていると評価されている。
IV	概ね整えられていると評価されている。Wi-Fi設備環境が整えられ、学習環境は年々整備されている。図書室の開室時間の延長を求める声があり、令和5年度から開室時間延長を行い対応する。冷暖房の温度設定への要望があり、今後改善を検討していく必要があると考える。
V	概ね良好に実施されていると評価されている。
VI	国家試験合格率は保健科・看護科100%、助産科90%であった。 就職・進学については学生の希望がほぼかなえられていると評価されている。
VII	コロナ禍により、学生のボランティア活動等の要請はほとんどなかった。教員は講師派遣等地域の要請に応えるなど対応している。

